

Seasarファウンデーション 理事会アジェンダ・資料

2009年5月12日

3

Seasar Conference 2009 Spring

次回のConferenceについて

Seasar Conference 2009 Spring

4

- アジェンダ
 - ファウンデーション活動報告(社員総会)
 - 認定試験制度の発表
 - 教育事業についての発表
 - 理事改選(選挙)
 - セッション
 - ひがやすをさん
 - Slim3 on GAE/J
 - bigTableをどのように使いこなすか
 - JDO
 - Seasar2の開発について
 - **絶賛募集**
 - 歴史を振り返る感じで
 - コミュニティでの交わりで生まれた「発見・発明」の話などあればなお良い
 - Seasar2事例発表
 - iSID
 - ヌーラボ
 - その他、事例のある企業
 - 候補
 - 出羽さん
 - 加藤さん
 - iSIDのサポート先
 - 公共系事例ないか？
 - LT
 - OBCI(ビジネス)などの路線
 - 寺田さん
 - はぶさん
 - 行政事例(杉山さん？松前さん？)
- コンセプト
 - OSS開発コミュニティの今と、Seasar2のこれからを感じるカンファレンス
 - イベントを行ったあとのイメージ
 - エンタープライズな雰囲気が増えた感じになる
 - 大中企業ユーザへのアプローチができる
 - 協賛して貰いやすい感じになる
 - Seasar2が新たなステージにあがったような感じになる
- メインはホールの870人部屋
- 公募は30人部屋を中心に募集
- サイト、Tシャツは用意する。
- バナーを先に用意し、仮ページへリンク。早めにバナーを用意する！
- 当日スタッフはdev-meeting MLを中心にボランティアを募る。

来年度の Seasar Conference について

□ Seasar Conference 2009 Spring

- <http://event.seasarfoundation.org/>
- 6月13日(土)
- 外濠校舎 6F: S601 30 | S602 30 | S603 30 | ホール
870

□ Seasar Conference 2009 Autumn

- <http://event.seasarfoundation.org/>
- 9月12日(土)
- 外濠校舎 3F: S301 30 | S302 30 | S303 30 | S304 32 |
S305 403 | S306 210 | S307 210

費用

6

SeasarCon費用

項目名	金額
イベントサイト	45,400
スタッフTシャツ(デザイン)	60,000
旅費交通費	150,000
総計	255,400

7

サポートDBについて

サポートDB

- Seasar-User MLのDB化
 - Seasar-User MLから吸い上げて、有用な情報をデータベースにする
 - Seasar-User ML、およびJIRAから吸い上げツールを作る
 - 未踏本体に提案
 - http://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/2009/2009_1/hontai/koubo.html
 - MLおよびWeb上から情報を集めるツール
 - 有志メンバで概要設計する
- iSIDさんはどのようにしているか
 - サポートする為にどういうことをするといいいのか？を聞く

Seasar-user ML の分類開始

- サポートDBの最初の作業は、MLを分類していくことがスタート
- ここ1年のログを月別に分けて
- 2008年5月から、2009年4月までを分類してみる
 - <http://ml.seasar.org/archives/seasar-user/>
 - 5月～7月 橋本
 - 8月～9月 栗原
 - 9月～12月 杉山
 - 1月～3月 米林
 - 4月 橋本
 - 5月7日に持ち寄る

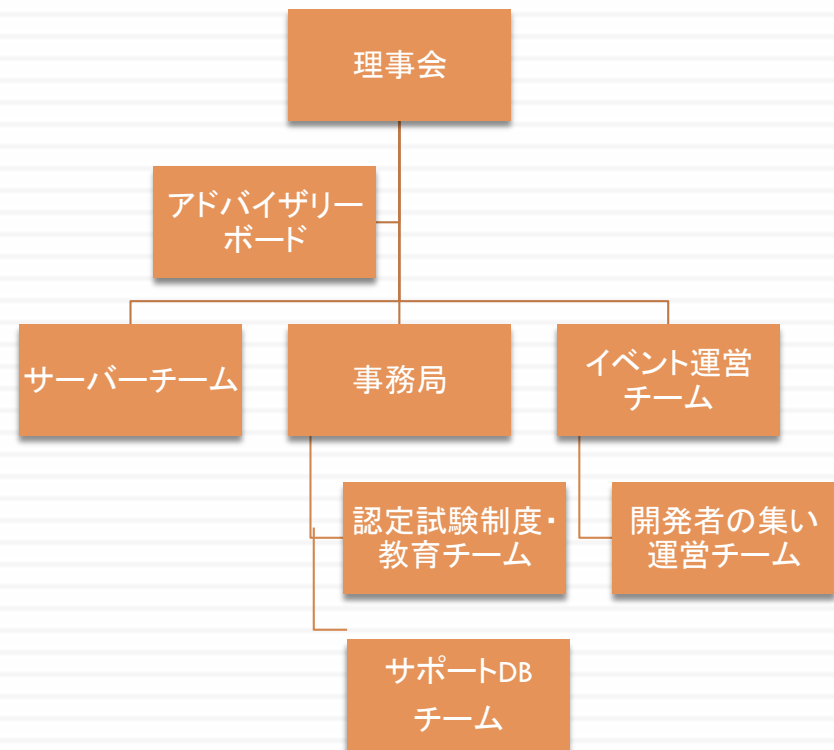
10

新体制について

NPO運営チーム

11

- 理事会
 - 特定非営利活動法人Seasarファウンデーションの役員です。
- アドバイザリーボード
 - 理事会の活動に関与し、意見を述べます。
- 事務局
 - 事業目的を遂行するために、ビジネス情報の創造・加工・伝達・蓄積・処理をします。
 - 認定試験制度・教育などを設計、推進します。
- サーバーチーム
 - Seasarファウンデーションの配下にあるOSS開発コミュニティのサーバーの運用、管理をします。
- イベント運営チーム
 - 主に「Seasar Conference」のイベント運営をします。
 - 開発者の集い(dev-meeting)運営
 - Seasarファウンデーション内外にあるOSSコミュニティの開発者の交流を行います



新体制について(理事改選について)

12

理事会

- 橋本(代表)
- 千葉
- 丸山
- 渥美
- 宮原
- 栗原
- 古川(候補)
- 米林(候補)

アドバイザリボード

- 喜多(宜しくお願いいたします)
- 中山(宜しくお願いいたします)

事務局

- 杉山
- 加藤
- これに加え、橋本、栗原、古川、米林

イベント運営チーム(開発者の集い含む)

- 橋本
- 二川
- 米林
- 武田
- 栗原
- および「開発者の集い」参加者

サーバーチーム

- 二川(Seasar関連全般)
- 染田(escafe.org)

認定試験制度・教育チーム

- 橋本
- 古川
- 栗原(未承諾)
- 杉山(未承諾)

サポートDBチーム

- 橋本
- 栗原

13

Seasar基金の営業について

Seasar基金の営業

- OBCIが客になり得る
- 具体的にどうする？を出さないといけない
- チラシ
 - チラシは5月12日の理事会までにできる予定
 - 具体的に「〇〇が出来ます」というのを書く
 - AIPの5周年のイベントのチラシのようなもの

15

試験認定制度について

目的

16

- ユーザーがSeasar2を選択する機会を増やす
- デベロッパの技術水準を明確化することで、ビジネスチャンスにつなげ易くする

認知度アップ

利用者(ユーザー、デベロッパ)を増やす

ビジネスシステムでの利用促進

- 考慮
 - UMLやXML認定試験のように、形骸化した制度にしない
 - ビジネスにつながり難い

実行手順

17

- マーケティング市場調査
 - SeasarCon2009Springにて行う
- 認定制度告知
- システムの導入
 - チョイススタジオと調整
- 問題作成
 - 古川、橋本で推進し、作成する
- 合格者カード等の作成
- プレス対応

試験科目と概要

18

- プログラマー
 - Seasar2及び関連技術を使って適切なプログラミングができる技術及び知識を有しているか
 - より、実務的な知識を問うため、以下の項目を網羅する
 - Seasar2、S2Dao、Struts、Java EE(Webコンポーネントまで)など
 - 試験方法
 - 筆記及び選択形式
- アーキテクト
 - システム要件に応じて、Seasar2及び関連プロダクトを適切に選択できる
 - 適切なアーキテクチャ及びデザインパターンを提示できる
 - 試験方法
 - 筆記及び選択形式
 - 要件書から設計実装した結果レポート提出
- オプション(中期的計画)
 - SAStruts、Teedaなど個別プロダクト

特典

19

- 合格者のHP掲載
- Webや雑誌等の執筆機会の提供(アーキテクト)
- Seasarカンファレンスでのセッションスピーカー(アーキテクト)
- ユーザー/デベロッパ企業への通知
 - 会社/氏名
 - 関係企業には、なるべく認定試験合格者をプロジェクトに参加させるように呼びかける

実施環境

20

- ちょいスタディー
 - ▣ 選択問題
 - ▣ 結果の集計レポート
- Irenka
 - ▣ ソースコード、設定ファイルの記述など、直接入力問題の評価

実施方法(手順)

21

- 受験料
 - プログラマ
 - 1回だけ ¥5,000
 - 合格するまで ¥20,000
 - アーキテクト
 - 1回だけ ¥10,000
 - 合格するまで ¥30,000
- 手順
 - Webからの申し込み
 - 振込み確認
 - アカウント/パスワード発行
 - 試験実施
 - 結果の通知

今後の課題

22

- Seasa2の標準バージョンを定める
 - Ver2.3と2.4では、大きく機能が異なるため標準的な安定度と機能を備えたVerが必要
- 比嘉さん、小林さんと打ち合わせをし、枯れたバージョンを作成することを検討する